

女性農業者の輪を広げよう！
オンライン交流会の開催

沖縄県内の女性農業者が自身の活動の中で抱える課題や女性固有の思いを共有し、その課題などの解消に向け、ネットワークを広げることとを目的として、去る7月30日に、「女性農業者オンライン交流会」を開催しました。



オンライン交流会で農業経営などについて意見交換する職員



オンライン交流会の参加者

島しょ県の沖縄では、多くの農業者が一堂に会することは難しいため、Web会議システムを利用し、沖縄本島(2人)、石垣島(3人)、宮古島(3人)、粟国島(1人)から、計9人の女性農業者にご参加いただきました。

交流会では、新型コロナウイルス禍における農業経営への影響、流通への不安、SNSを活用した販路拡大の可能性、消費者と生産者をつなぐ取組などについて活発に意見を出し合い、交流を深めました。

また、参加者からは、「農業女子たちでYouTubeを作り、身近な農業の魅力を情報発信」、「島しょ県

だからこそできるWebマルシェを開催」など、女性農業者の新たな活動のアイデアが出され、ネットワークの広がりへの期待が膨らみました。

今後、農林水産部では、女性農業者が幅広く活動できる取組を積極的に推進していきます。

お問合せ先
農林水産部経営課

☎098-866-1628



生産者を応援！
学校給食に旬の県産マンゴー

新型コロナウイルス感染症は、インバウンドや外食需要の減少を招いており、特に観光産業が盛んな沖縄県では、マンゴーなどの高級品を中心に農産物の消費に大きな影響を及ぼしています。

農林水産省では、生産者への影響を緩和するため、「国産農林水産物等販売促進緊急対策事業のうち野菜・果実販売促進緊急対策事業」を実施し、需要の減少が大きい国産果実などの学校給食への提供を支援しています。

沖縄県農業協同組合(JAおきなわ)では、本事業を活用して、県内の小中学校を対象に、県産マンゴーを学校給食へ提供しています。

7月2日に宮古島市立城辺小学校でマンゴー



宮古島市立城辺小学校におけるマンゴー贈呈式

校でマンゴー

贈呈式が行われ、市内の小中学校への提供が始まりました。

沖縄を代表する果物であるマンゴーは、7月がまさに旬です。日頃は、学校給食ではあまり見られない果物とあって、子供たちがおいしそうに食べる姿がとても印象的でした。

また、マンゴーの提供とともに、食育面から、どのようにマンゴーが生産されるのかを説明した教材を児童一人一人に提供し、県産マンゴーに対する理解を深めるための取組も行われています。

なお、学校給食へのマンゴーの提供は、宮古島市以外でも、希望する小中学校に対して、夏休み明けに行われる予定です。



教材「沖縄県産マンゴーができるまで」
(JAおきなわ作成)



お問合せ先
農林水産部生産振興課

☎098-866-1653